

## 《第90回》出水南6町内子ども会 「しめ縄飾り作り」 育成会会長 宮原 美那子、担当 八井 ミサキ

令和5年12月17日(日)9:00~11:00 出水南コミュニティセンターで、林先生を講師としてお招きし、「しめ縄飾り作り」を行いました。子供会からの参加者は子ども9人、大人7人で、自治会などの大人の方の参加が15人程度でした。

まずは、しめ縄の意味から説明してくださいました。「しめ縄」=「縄をしめる」「おいでいただく祖先をしめなわす」の意味があるそうです。  
飾り方や、しめ縄としめ縄飾りの違いなど楽しく教えていただきました。

### 〈準備〉

●藁 ●紐 ●霧吹き ●飾り ●軍手など

※藁は、町内の田んぼをお持ちの方が、藁を分けてくださったそうです。

11月から下準備のため自治会さんが藁を乾かしたり、分けたりしていただいたようです。

### 〈作り方〉

- 1 藁を8本ずつの束にしておく。
- 2 2束を持ち根本を足で押さえる。
- 3 手を合わせて右手を手前に引きながらそれぞれの藁をねじる。
- 4 ねじった藁をなっていく。「なう」とは巻き付ける動作

※藁を霧吹きで湿らせるとないやすいそう。





説明の後は、簡単なしめ縄飾りを作る子ども会と、大人の方に分かれてそれぞれ指導者の自治会さんが指導されました。

○子ども達も、早速やってみます。



○しめ縄が出来たら、飾り付けをします。

・飾りは、自治会さんが準備した物や、それぞれが折り紙で作ったり、草花を持ってきたりして飾りました。

### ◆ 感想 ◆

〈初参加者〉

◆初めてだったけど、思ったよりも上手く行った。

◆難しくなかったし、楽しかった！飾り付けが楽しかった。



出来上がりに満足そうですね！

◆難しくかったけど、どんどんやると楽しくなってきた。

(飾りつけをするより、最後まで縄をなうことを楽しんでいる様子でした)

※写真なし



## 〈2度目の参加〉

- ◇最初は上手いかなかったが去年よりも上達した！とおもう。(お父様)
- ◇楽しかったので、来年も参加したい。(子供)
  
- ◇手の捻り方が難しかった (お母様)
- ◇難しかったけど、2回目の方が自信満々にできた！ (子供)



今年で2度目のしめ縄飾り作りでしたが、昔ながらの伝統に触れる行事を企画して頂き本当にありがたいです。楽しそうに参加している子ども達や保護者と、地域のおじいちゃんおばあちゃんとの触れ合いの場にもなり、来年も参加したい！とみんなが話してくれていました。

### 《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございます。原稿や写真は全体のレイアウトまでして頂いています。写真で活動の様子がよく分かりました。日本の伝統文化に子どもたちが直接触れる機会が少なくなっている現在、日本文化を継承する貴重な体験です。
- ② 「亀の甲より年の功」自治会や老人会など地域には優れた知恵や技術を持った方が沢山おられるようで、そのような方々と交流できて子どもたちも幸せですね。指導される方は他の人に教えることで達成感を味わい、習う人はできあがった作品（しめ縄飾り）を見て達成感・充実感を味わう。という共に充実した時間だったと思います。
- ③ 先月、令和5年度九州地区子ども会育成研究協議会が熊本市で開催されましたが、その際の部会協議の中で、「地域の人（自治会、老人会など）と一緒に活動する、あるいは地域と関わりのある活動をするのが、子ども会活動で大変重要だ。」という話し合いがなされました。正にそのことを出水南6町内子ども会がこのように実践しておられます。関わられる方は大変だと思いますが、この素晴らしい行事をずっと大切にしてほしいと思います。
- ④ 今回の行事は地域の方との触れ合いばかりでなく、親子の触れ合いにもなったようで大変良かったと思います。出水南6町内子ども会と地域の皆様のご活躍と、子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。